

えひめジョブチャレンジ

東予東中生が農業実習

東予東中学校の生徒が28日、西条市吉田の日野農園で野菜や米作りの農作業体験をした。同校の生徒が27日から行っている職場体験学習の一環で、日野農園は2年生11人が参加。2日目の28日は、トマトの収穫や田植えの作業を経験した。

体験の前の心境は、緊張していたという生徒や楽しみだった生徒もいた。トマトの収穫は、ハウスの中で行った。農園の日野陽平さん(40)が、赤くなっているトマトだけを選んで収穫するようにアドバイス。慣れない作業と汗が噴き出すほどの

環境に、茎を切る箇所を間違えるなど失敗した生徒もいた。日野さんは「人間誰しも失敗はあるから次に気をつければ大丈夫。失敗を隠すことが本当にいけないことだ」と声を掛けながら、和やかな雰囲気で作業をしていた。



トマトを収穫し、笑顔を見せる中学生

収穫後には生徒全員でトマトを試食。「甘くて新鮮でみずみずしくておいしい」という声が多く聞こえ、水路に足を付けて涼をとる生徒もおり、農場には笑い声が響いていた。昼休憩の後、田植え作業で実習が再開。生徒は、田を耕したり、苗を機械にのせたりしていた。午後は小雨と強風に見舞われるなか、生徒らは自然とふれあいながら、分担し協力しながら、楽しく田を耕していた。

生徒の足や服は泥まみれになっていて、全員が自分の役割をしっかりこなそうと真剣な表情で取り組んでいた。体験した佐伯大雅さん(13)は「収穫できるかどうかの区別が難しかった。機会があれば、

自分でもトマトを育ててみたい」と話していた。【百川忠臣】



水田をくわでならす中学生

後継者不足 農業の課題山積

「これからの課題は、どんどん農業の後継者が減っていくことだ」と日野陽平さんは言う。原材料費の高騰など複数の課題を抱える。「あと5年か10年続くと、後継者が減少している」と危惧している。

後継者不足の理由には、労働時間の長さや、自分の畑を作る費用や、安定した職業ではないことなどのデメリットが関係していると思われるという。

日野さんによると、一日でも放置するとその作物がだめになってしまうというリスクがあり、休みは一日もない。また畑を作るための機械、ビニール、土地などすべてを合わせると何十万、何百万いくので、簡単に始めることができない。また天候によって作業内容

か、生徒らは自然とふれあいながら、分担し協力しながら、楽しく田を耕していた。

生徒の足や服は泥まみれになっていて、全員が自分の役割をしっかりこなそうと真剣な表情で取り組んでいた。体験した佐伯大雅さん(13)は「収穫できるかどうかの区別が難しかった。機会があれば、

や作物の成果が左右される。最悪の場合、台風などが来てしまったり、すべての作物が出荷できず、儲けが出なくなる可能性もある。

インターネットサイトでは、後継者が増えるような工夫として、最近、農園主の代わりに農作業を行う、代行サービスが紹介されている。このサービスでは、どうしても用事があっても休みたいが休めないというときに、農園主の代わりに農作業を行ってくれるサービスだが、まだ全国的には普及していない。

日本の自給率はどんどん減ってしまっている。せひとも後継者が増えてほしいところだ。後継者を増やすようにするために、職場体験などで農業の良さなどを体験することが大切だと思う。【芥川大和】



農業の課題について語る日野陽平さん

キュウリ、トマト、トウモロコシ、サトイモ...

いろいろあるぜ！日野農園

日野農園の日野陽平さんにインタビューし、仕事の特徴や農園について聞いた。

この仕事のやりがいは、消費者が喜んでくれるところで、難しいところは、天候によって左右される作業が安定しないことだということ。心構えとして大切なことは「植物をよく観察し、植物を思いやり水や肥料を調整すること。植物の医師になつたつもりで健康管理をする」と語る。

農園は、直売所や倉庫を兼ねた小さな建物がある以外は、広大な農地が広がる。計約1万4千平方メートルの農地、主力のトマト、キ



田植えをする日野さん(右)と作業を手伝う中学生

日野農園で栽培したトマト

ユウリのほか、サトイモ、米、トウモロコシ、アムスメロンなどを栽培。トマトとキュウリだけでも、それぞれ複数の品種を育てる。ハウス内には「このやり方は企業秘密です」というものもあり、工夫を重ねてベストな作り

日野さんは「色々試してみること。失敗から成功が生まれ、考えながら動くことが大切だ」と話し「この仕事はいろいろな知識が必要で、年中収穫を行うので、健康維持が大切だ」と説明した。【尾田絆莉】

方を研究していた。農地では、収穫時期の異なる作物をバランス良く育てることを意識しているといい、近くスイートコーンの収穫時期を迎える。作るのが難しい農作物はアムスメロンで、今年度は「うまくいかなかった。天候の影響をとっても受けやすいのが理由という。

